

# 公募等実施事項報告書（資金分配団体）

Version 1.0

事業名:	中国5県コロナ対応緊急支援助成（第2期）
資金分配団体:	特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
実行団体数:	9団体
実施時期:	2021年3月～2022年2月
事業対象地域:	岡山県、広島県、山口県
事業対象者:	1. 食支援（広島県、山口県実施想定）

日付： 2021年6月9日

## I. 公募～選定の結果

単位：件

選定予定件数-計画	申請事業数-実数	申請団体数-実数	選定事業数-実数	選定団体数-実数
9	12	12	9	9

## II. 公募プロセス/実行団体の募集

募集の告知期間 ※告知開始～募集受付開始 (単位：日)	募集の受付期間 (単位：日)	募集の告知媒体の種類							
		<input checked="" type="checkbox"/>	HP	<input checked="" type="checkbox"/>	SNS	<input type="checkbox"/>	チラシ	<input checked="" type="checkbox"/>	関連組織を通じた広報
23	23	<input type="checkbox"/>	プレスリリース	<input type="checkbox"/>	その他	具体的な方法（ ）			
<b>実行団体の募集で工夫したこと、よかったこと</b> コンソーシアムを組んだことにより、地域に専門性を持つプログラムオフィサーが担当となることができ、公募説明会に参加できなかった団体に対しても十分なアプローチができた。									
<b>実行団体の募集の課題</b> 実行団体による活動期間を確保するため、募集期間を短く設定せざるを得なかった。公募テーマや案件形成と並行して実行団体にニーズを確認したが、日程に余裕があればもう少し多くの団体にリーチすることができたのではないかと振り返っている。									
公募に申請した団体の情報を、募集終了時に Web サイト上で公表しましたか。対応状況の詳細と合わせて記載ください。									
はい	<a href="https://kyumin-chu5.npoc.or.jp/">https://kyumin-chu5.npoc.or.jp/</a>								

## III. 公募プロセス/申請団体の審査

単位：人

審査委員の人数 (合計)	内訳	
	内訳:外部委員	内訳:内部委員
4	0	4
<b>審査の過程で第三者の意見聴取等、専門的な意見をどのように取り入れましたか。</b> 本事業に必要な知見を持った審査委員構成（フードバンク、金融機関、会社経営者、福祉等の助成についての専門家）を取ることで第三者意見、専門的な意見を取り入れるようにした。 事務局による応募団体へのヒアリングを全団体に対して実施し、そのレポートと申請書類を使った事前審査（書類審査）と審査委員会の2段階で審査を実施した。		
<b>審査を行う者の利益相反の防止措置はどのように行いましたか。</b> 審査委員会規則を作成し、各委員の遵守を確認した。 4. 審査委員の委嘱の際には、その就任後、資金分配団体若しくは実行団体又はこれらの団体になり得る団体等の役員又はこれに準ずるものに就任する場合には、事前に運営委員長に書面で申告するものとし、その場合辞職等利益相反防止のため必要な措置を求めることがある旨委嘱の条件を明示するものとする。		
<b>申請団体のコンプライアンス/ガバナンス体制の確認をどのように行いましたか。</b> 全申請団体に対して事務局2名以上の体制でヒアリングを実施し、申請書類および口頭で確認した他、必要に応じて団体HPや所轄庁への申請書類などで確認を行った。		
<b>申請団体との面談(必要に応じて現地調査)はどのように実施しましたか。</b> コロナ禍のため現地へ赴くことができなかったため、Zoomによるオンライン面談を全申請団体に対して実施した。より客観的に面談を勧められるように、担当兼の担当者に加えて、1名以上他県の担当者が参加する体制で実施した。		
<b>申請団体の審査で工夫したこと、よかったこと</b> コロナ禍の中での審査となったため、Zoomによるオンライン参加が可能となるよう準備を行った。オンライン審査がストレスなく進むように、オンライン対応の会場で実施した。		

<b>申請団体の審査で感じた課題</b>	
想定通りの審査が実施できたと認識している。今後、新たに休眠事業を実施する際は、より透明性、公平性があると評価いただける審査会になるよう取り組むことを審査委員からフィードバックいただいた。	

#### IV. 公募の設計/申請団体数・実行団体の事業内容

<b>(申請団体数)</b> 実行団体選定予定件数に対して申請団体数は想定通りでしたか。その要因と合わせてご記入ください。	
想定より少なかった	問い合わせは多かったが、任意団体や規模の小さなNPO法人が多く、申請に必要な要件等を聞いてあきらめる団体が多かった。
<b>(申請団体の事業内容)</b> 設定した社会課題の解決に対して、選定した実行団体の事業内容（目標、対象者、地域、活動、金額、規模等）は想定通りでしたか。その要因と合わせてご記入ください。	
想定通りだった	コロナ緊急助成という性質から、あらかじめ実行団体に求める活動を具体にしていたため、選定した実行団体の事業内容は想定通りだった。

#### V. 選定結果の通知及び公開の状況

<b>(選定結果の通知)</b> 実行団体に選定しなかった申請団体に対し、その理由と改善すべき点を示しましたか。	
はい	審査委員会での意見も含め、申請内容についてすべての申請団体にフィードバックした。
<b>(選定結果の公開)</b> 選定結果について、webサイト上で広く一般に公開しましたか。	
はい	直ちにWebサイトにおいて公開した。
<b>(規定類の公開)</b> ガバナンス・コンプライアンス体制に関する規程類を、webサイト上で広く一般に公開しましたか。	
はい	直ちにWebサイトにおいて公開した。
<b>(人件費水準の公開)</b> 経費に人件費が含まれる場合、当該人件費の水準をwebサイト上で広く一般に公開しましたか。	
はい	直ちにWebサイトにおいて公開した。

#### VI. 公募の過程に伴う事業再検討結果（事前評価）

##### 課題の分析（ニーズの分析）

課題の妥当性：助成申請時に想定していた課題の分析に対し、変更が発生した部分
変化なし
事業対象の妥当性：助成申請時に想定していた課題の分析に対し、変更が発生した部分
変化なし

##### 事業設計の分析（セオリーの分析）

事業設定の妥当性：助成申請時に想定していた事業設定に対し、変更が発生した部分
変化なし

見直し後の事業目標 及び アウトプット指標（実施・到達状況の目安とする指標）/把握方法/目標値/達成時期

今回の事業実行を通じた目標	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態
<p>食支援①、② 支援物資を安定して保管できる設備が整い、整備前より量・種類ともに多くの支援物資を受け入れている</p> <p>食支援③、④ 車両等が整備され、整備前よりも多くの支援物資を必要とする個人や団体に届けることができている</p> <p>食支援⑤、⑥ 実施した支援活動が社会への共感を得ることを目的とした形で発信され、寄付や支援者が増加している</p> <p>住居・居場所の確保支援①、② DVや虐待の十分な数のシェルターが確保できている。また、それが家主に解除される懸念（継続困難）や毎月の維持費（家賃）に悩まされず運営されている。</p> <p>住居・居場所の確保支援③、④ 生活困窮者等の困難を抱える人に対する住居・居場所支援のための物件が確保され随時提供されている。</p> <p>住居・居場所の確保支援⑤、⑥ 支援情報の流通体制が整っている。</p>	<p>食支援①整備された設備の数 食支援②受け入れた支援物資の量や種類 食支援③整備された車両等の数 食支援④届けた支援物資の量や種類 食支援⑤制定されたファンドレイジング計画の有無 食支援⑥寄付や支援者の数</p> <p>住居・居場所の確保支援①確保されたシェルターの数 住居・居場所の確保支援②購入により安定確保されたシェルターの数 住居・居場所の確保支援③確保された物件の数 住居・居場所の確保支援④購入により安定確保された一時入居物件の数 住居・居場所の確保支援⑤自治体情報を含む情報サービスへの掲載 住居・居場所の確保支援⑥助成先が他の支援組織と情報連携できている</p>	<p>食支援①～⑥実績を把握</p> <p>住居・居場所の確保支援①～⑥実績を把握</p>	<p>食支援①4か所以上に十分な設備が整っている / 食支援②直近同時期より量・種類ともに増加している / 食支援③2か所以上に車両等が整備されている / 食支援④直近同時期より量・種類ともに増加している / 食支援⑤ファンドレイジング計画が策定されている / 食支援⑥前年度より増加している</p> <p>住居・居場所の確保支援①新規に1以上の確保 / 住居・居場所の確保支援②新規に1以上の購入 / 住居・居場所の確保支援③新規に1以上の確保 / 住居・居場所の確保支援④新規に1以上の購入 / 住居・居場所の確保支援⑤2以上の情報サービスに掲載 / 住居・居場所の確保支援⑥ネットワークがある</p>

見直し後の事業実施後（1年後）以降に目標とする状態 及び その目安とする指標（※指標については設定可能であれば、で構いません）

今回の事業実行を通じた目標	目標値/目標状態
<p>1. 食支援：必要な設備が整い支援物資をより多く安定して保管、供給することができている。それらの成果が社会に発信され共感を得ることで寄付等が集まり持続可能な活動になっている。</p> <p>2. 住居・居場所の確保支援：DVや虐待、生活困難等の課題が深刻化していく中で十分な数のシェルターや居住支援場所の確保と安定運営がなされ、セーフティネットを維持している。それらの情報が必要とする人に届くネットワークができている。</p>	<p>いずれも、実行団体の活動が持続可能になっていること</p>

VII. 広報実績（公募関連以外）

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	無	現時点では特になし
広報制作物等	無	現時点では特になし
報告書等	無	現時点では特になし

VIII. ガバナンス・コンプライアンスの確認

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか。	いいえ	
5. コンプライアンス委員会は定期的開催されていますか。	はい	
6. 実行団体に規程類の整備について説明をしましたか。	はい	